

第94号

夏休み特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】 <https://www.fgmeisei.ed.jp>
【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp

夏の激闘！ 明誠野球部の熱い戦い！

4回戦にて無念の惜敗 最後まで粘りを見せた



金が目標だなんて言わなかった

野球部主将
32HR (御前崎中出身)
山本 麻南斗



私たち野球部は、いつも背中に「一心」の文字を背負い、日々の練習に励んできました。この2年半の間、苦しいことも辛いこともたくさんありましたが、しかし、「甲子園で勝つ」という目標のもと、みんなで集まり意

見を言い合いながら、全員が1つの目標に向かって一丸となり進んでこられたことは、自分たちを成長させ、強くしてくれました。

私たちの目的は、「人間形成」です。部活内だけでなく日常生活での挨拶や礼儀など、人としてどうあるべきかを考え、行動し、実践してきました。

た。このことは近い将来、社会に出て生きていく上でも大事なことです。野球部で学んだことは、この先自信を持って生きていける力になると思います。

まず、先生方、保護者や生徒の皆様、地域の方々におかれましては、今夏も大変暑い中でしたが、たくさんの方の温かいご声援をありがとうございます。

後輩たちにも、支えてくださるたくさんの方への感謝の気持ちを忘れず、私たちが達成できなかった甲子園出場を果たし、「甲子園で勝つ」という目標に向かって、学校生活や日々の練習に励み、たくさんの方に応援され愛されるチームになつてほしいと思います。

自分史上最高の時間

応援委員会委員長
37HR (葉梨中出身)
杉山 大夢



今年の4月、高校1・2年生の各クラスから1名が選出され、応援委員会が組織されました。昨年は慣れない型の練習に悪戦苦闘し、自分自身集中して取り組むことができませんでした。しかし、今年の野球応援はどうし

でもやりたいと思っていた。それは、先輩の野球応援に憧れていたことでもあります。後輩が応援の型を頑張る練習している姿を見たからです。

大会前は、どうすれば皆を盛り上げられるかを考え、生徒たちのフォーメーションや吹奏楽部・チアリーディング部・応援委員・野球部の配置などを綿密に打ち合わせしました。しかし、練習時間の不足を感じ、不安な気持ちで大会に臨みました。

本番当日、私は完璧に指導できたとは言えませんでした。もっとうしろでお願いしたと悔しい気持ちになりました。しかし、私は試合前・7回・試合後の校歌指導の際、誰よりも真剣に行え

たと思います。今までの苦しさや辛さを取り払い、明誠野球部のために全力を注げたと思います。私史上最高の時間でした。

私はこの機会を与えてくださった望月先生・野球部・チアリーディング部・吹奏楽部・生徒の皆さんにとっても感謝しています。ありがとうございます。

最高の夏をありがとう

チアリーディング部キャプテン
38HR (西益津中出身)
林 愛美



私たちチアリーディング部は「選手力になれ」る応援を目指し、日々の練習に励んできました。また、全校生徒の前に立つて応援させていたという責任を持ち、チアリーダーにふさわしい挨拶や態度を徹底しまし

た。1試合ごとの応援の反省点をチェックし、工夫を重ねることで、より良い応援ができたと思います。

試合当日はスタンドにいるチアリーダー全員が勝利を信じて応援しました。野球部の最後まで戦い抜く姿や、どんな状況でも前を向いて選手を鼓舞する姿に心を打たれました。

向かう懸命な姿を見て、自分たちにとって今何が必要な力なのかを再確認することができました。人として大切なことや、周りの人から見て気持ちの良い行動をとることは、良い音楽づくりにつながると思っています。また、何度壁にぶつかっても自分たちの欠点ばかりに目

を向けるのではなく、良かった点にも同時に目を向け、より良い音楽を追求できるチームでありたいと思います。

この夏の野球応援での活動が、私たちの今後に向けての大きな活力となりました。ありがとうございました。

勝利につながる演奏届けたい

吹奏楽部部長
28HR (六甲中出身)
木下 美羽



私たちは、昨年度の10月から、自分たちで音楽をつくる力をつけたい、自律心を高めたいという思いから、演奏にダンスを加えたダンプレという新しい試みに挑戦しました。全員が知らないこと

ばかりで戸惑いを感じつつも、自由に作り上げる音楽の形に楽しさも見いだしていました。そんな中、夏の野球応援が始まりました。

勝利につながる演奏を届けたいという思いで会場に向かいましたが、野球部の皆さんの挨拶、礼儀正しき、そして勝利に

夏休みの中のさまざまな活動を8名の体験者に述べていただきました

海外旅行・部活遠征合宿など

見識を広げるため
夏休みを大いに活用

私はこの夏休み、カナダのトロントに短期留学をしました。前から外国へ行ってみたと思っていたこと、自分の英語の実力を試してみたいと思ったからです。カナダは自然がとても美しい国です。ホストファミリーの仕事先であるナイアガラ公園ではたくさんの蝶を見ることができました。カナダは水が貴重で、シ

24HR (高洲中出身)
八木 梓

自身を見つめ直し将来を考えるきっかけ

ヤウーの時間を決めて節水していました。自分がいかに日本で恵まれた暮らしをしているかを知る機会となりました。

私は、この夏休みに、シドニーへ3週間の語学留学に行きました。現地のホストファミリーと一緒に生活するなかで、日本がいかに恵まれているかがわかりました。公共交通機関の時刻の正確さや町の安全など、日本では当たり前だと思っていたことが、海外では違っていることを知りま

J31HR (黒石小出身)
島田 竜之介

シドニーで日本との違いを実感

私たちはサッカー部は、夏休みに遠征を行い、3年生にとっては最後の大会となる高校サッカー選手権に向け、チームの強化に努めました。遠征では、自分たちよりもレベルが高い高校と多く対戦させてもらうことができて、課題や足りない部分が明確になりました。その一方で、相手のレベルが上でもこちら

34HR (名古屋御幸山中出身)
福土 和希

遠征でチームがまとまり自信もできた

私たちは陸上部は、11月に行われる県高校駅伝に向けて、夏休みに2回合宿を行いました。場所は、長野県の富士見高原で行いました。ここは標高が約1300mの高地で、夏であっても涼しく、走りやすい環境で、集中して練習に取り組めました。1回目の合宿では、体

32HR (吉田中出身)
大石 彪斗

合宿を通じて自分を成長させた

ナース、ドクター体験・オープンキャンパスなど

夏休みを利用し、
進路について考える

私はこの夏、焼津市立総合病院の1日ナース体験に参加しました。病院に入ると、看護師の方から病院の説明を受けました。その後、看護師の方と一緒に実際の患者さんの手足を洗う体験、病院内の見学、心肺蘇生の練習などを体験させていただきました。体験の最後には看護師の方たちとの座談会がありました。

23HR (大井川中出身)
石原 幸

看護師の夢追い続け努力を

座談会では自分の疑問に思っていることや、看護師の方のやりがいや大変なことなどを聞くことができました。

私は今回の夏休みの間に、「こころざし育成セミナー」に参加させていただきました。今回は、2つの医療施設を見学させていただきました。1つ目は、浜松医科大学です。ここでは、まず2つの診療科の方からお話をいただき、さらにシミュレーションを行いました。これらを通して、

210HR (中川根中出身)
佐藤 光

再び固まった医師への決意

どれだけ私たちが医療に助けられているのか実感することができました。

私は、この夏休みにオープンキャンパスに参加しました。周りを見ると皆真剣な面持ちで自分の将来について考えているのを感じ、生半可な気持ちで参加しているのではないことが手に取るように分かりました。また、パンフレットや大学案内の冊子だけでは感じ取ることのできない学生の雰囲気もしくは、大学周辺の環境を肌で感じることもできました。

24HR (城内中出身)
増田 京晋

興味ある分野を学ぶ日を夢見で

しかし同時にもう1つの感情が生まれました。それは受験に対する不安や一種の焦燥感のようなものが芽生えました。それは、受験当日はもっと緊張してしまうのではないかとという感情でした。

私はこの夏休みの間に静岡大学工学部のオープンキャンパスに行ってみました。このオープンキャンパスを通じて大学生の皆さんは、留学をしたり資格を得たりと自己研鑽に励んでいました。大学は他の大学と連携を組むのが一般的で、海外の大学と組んでいる大学もあるので、大学選びの参考にしてもよいかもしれません。

29HR (明誠中出身)
高宮 賢臣

将来の具体的なビジョンを得た

方々がそれぞれの研究に打ち込んでいました。私にとってその環境は居心地の良いものでした。

高校1年生特集！科・コース別に明誠での生活を語る！

普通科

自分に負けない精神力をもつ

11HR (蒲郡形原中出身)
松下 源

部活動に一番力を入れていること

部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること
部活動に一番力を入れていること



Q…半年間、明誠で生活してどうか

勉強と部活の両立を目指して、毎日とても充実した学校生活を送ることができています。

Q…今一番力を入れていること

Q…3年後の自分はどうか

柔道部で体力・技術の向上を目指す

12HR (高洲中出身)
高山 広大

Q…今一番力を入れていること



Q…半年間、明誠で生活してどうか

いろいろな行事を通して、クラスメイトとの仲を深めることができて、とても充実した学校生活を送ることができています。

Q…この1年間の目標
勉強では、理文に進むことができるような学力を身につけて、部活動では体力・技術の向上に全力で取り組みます。
Q…3年後の自分はどうか
なっていたいかな

周りから尊敬され、頼られる人になりたい

13HR (青島中出身)
鈴木 万吏菜

Q…今一番力を入れていること



Q…半年間、明誠で生活してどうか

中学生の頃とは違う新しい環境に戸惑うこともありましたが、部活の先輩や新しくできた仲間のおかげで支えられ、今はとても楽しいです。

Q…この1年間の目標
文武両道を徹底すること

英数科英数コース

どんなことにも自分なりのベスト尽くす

16HR (明誠中出身)
滝井 玲奈

Q…この1年間の目標
どんなことにも自分なりのベストを尽くすことと、誰かと話したり書いたりと言葉にすることで、自分のイメージを明確にさせていくことです。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

多くの素敵な仲間に出会い、良い刺激を受けている。大変なことも全部ひたすら頑張る。毎日が充実していると感じます。

Q…今一番力を入れていること

私は様々な分野に興味があり、将来に向けて今できることを探しています。また、学習時とそれ以外のメリハリも意識しています。

よりよい勉強スタイルを見つけ進路実現を

17HR (大洲中出身)
長嶋 桃花

Q…この1年間の目標
理解不足の内容について、放課後を使って、先生に積極的に質問し理解することです。それに加えて、自分の勉強スタイルを改善し続け、より良い勉強スタイルを築くことです。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

毎日の7時間授業も当初は大変でしたが、しだいに慣れ、友人もでき、生活はとても充実しています。日々の勉強から刺激を受けながら勉強や部活に励んでいます。

Q…今一番力を入れていること

私は将来、博物館の学芸員になりたいと考えています。そして、歴史を学ぶことの楽しさや大切さを多くの人に伝えていきたいです。

学習・部活を両立し全力で取り組む

18HR (高洲中出身)
多々良 芽生

Q…この1年間の目標
「できない・分らない」を、そのままにしないようにすることです。そのために放課後や休み時間を利用して、積極的に先生に質問し苦手を克服し、理解を深めていきたいです。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

学習面でも生活面でもとても充実して生活できているように感じています。友達もできて毎日とても楽しいです。

Q…今一番力を入れていること

勉強と部活の両立をすること、力を注いでいます。授業中や部活動では、全力で取り組むようにしています。

英数科国際教養コース

将来は世界を飛ぶパイロットに

15HR (附属島田中出身)
白井 花歩

模試で偏差値70以上をとることを目指しています。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

勉強をがんばっている仲間がたくさん周りにいるので、自分も負けないようにがんばろうと思っています。

Q…今一番力を入れていること

本や新聞を毎日読んで、自分の知識や考えの幅を広げていくことです。毎日勉強に励み、外部

大きな目標のため日々の積み重ねを大切に

15HR (バック日本人学校 中学部出身)
田中 望

Q…この1年間の目標
勉強はもちろんですが、趣味をもっと増やしていきたい。いろいろなことに興味を持ってみることで「物は試し」ですね。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

私は英語が得意ということで、国際教養コースに進学し、たくさんの優秀な仲間と出会えて、とても楽しいです。

Q…今一番力を入れていること

英語だけでなく、他の科目や、苦手なことにも力を入れています。英語だけが得意でも、意

幅広い知識得て英語に自信をもつ

15HR (藤枝中出身)
尾白 麗奈

Q…この1年間の目標
教養としての英語にも力を入れていきます。



Q…半年間、明誠で生活してどうか

図書室などの朝や放課後に、集中して勉強することができ、場を利用することによって、定着した学習リズムを守って生活しています。

Q…今一番力を入れていること

明誠ダイアリーに1日の生活リズムを記入して勉強時間の確保や計画性を推進しています。国際



体験授業に中学生たちは楽しく参加していた

2千人を超える中学生・保護者が来校!

7月20日(土)1日体験入学開催!

令和元年7月20日(土)、本校において1日体験入学が行われた。来場者数の内訳は以下のようになっている。保護者への学校説明に加え、

中学生に対して国社数理英の5教科をさらに4つの講座に分けた体験授業が行われた。そこでは、各教科の教員がそれぞれ工夫を凝らした授業が行われ、中学生の満足度も高かったようである。その後は、部活動説明なども行われており、先に述べたように藤枝明誠の名が広まっているというだけでなく、魅力も確実に伝えられた1日体験入学であったように思う。

魅力溢れる体験授業

1日体験入学では、来校した中学生を対象に、本校職員による体験授業が行われ、全部で20講座が開かれた。その内容は様々で国・社・数・理・英の5教科は間違いない。



真剣な面持ちで勝負に挑む選手たち



27HR (大富中出身) 宮内 優

棋道部 悔いを残すも団体戦の良を感じた

全国大会を終えて痛感したのは、自分のメンタル面の弱さだった。全体の結果は、4局将棋を指し、1勝3敗で予選落ちという残念な結果に終わった。個人の戦績は1勝3敗で、先輩方の足を引っ張ってしまい、大きな後悔の残る大会となった。



27HR (大富中出身) 宮内 優

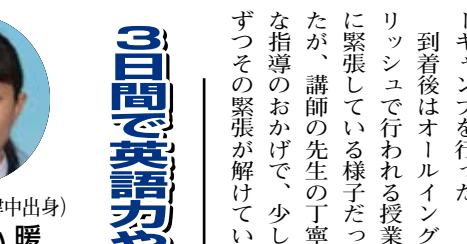
対局相手との実力差はなかったと思うが、敗因



26HR (タイ王国出身) キティ

留学生コーナー 日本での生活を楽んでいます

こんにちは。私はタイのバンコクから来たキティです。私は今、26HRや15HRで勉強しています。そのおかげでたくさんの友人ができました。みんないろいろな話ができ、とても嬉しいです。昼休みには、ホストファミリーが作ってくれたお弁当を持って、いつも友人たちと一緒に食べますが、とても楽しいです。



26HR (タイ王国出身) キティ

授業は、まだ日本語がわからないところもあり、何を勉強しているのか難しく感じることもありますが、私が1週間が一番楽しみにしている授業は、数学です。また、日本語の授業も楽しみの1つです。日本語を早く上達させたいからです。私は、日本での生活を楽んでいます。

とができます。今回出た反省を次に活かし、自分だけでなく相手にも楽しんでもらえるプレゼン発表にしていきたいです。この3日間は、私にとって初めて体験することばかりでしたが、一緒に参加したみんなの助けもあり、自分にとって貴重なものとなりました。そこでは互いに助け合うことの大切さを学びました。短い期間でしたが、自分の英語力だけでなく内面的にも成長することができました。ここで体験したことを糧にし、これからの自分のスキルアップに役立てていきたいです。

中学・高校部員が丸となったパワフルでハイクオリティな演技!



本番では一生懸命練習の成果を発揮した

8月18日(東京都)

USA/Japanチアリーディング&ダンス学生選手権大会2019出場!



28HR (高洲中出身) 岸端 海咲

今年も野球応援に参加させていただきました。少しでも野球部の皆さんの力になれるよう、応援委員会、吹奏楽部、そして生徒の皆さんと一緒に全力で応援することができました。また、私たちは8月18



J32HR (長田西小出身) 龍崎 心

笑顔で最高の演技できた

は、8月11日に東京の駒沢体育館で行われた大会に出場しました。初めて中学1年生から高校3年生まで6学年そろって出場した大会なので、技術も大切ですが気持ちを1つにすることを一番大切に練習に励みました。特にこの大会は、部員23人全員で踊れる最後の大会だったこともあり、1分1秒を大切に練習に取り組みました。大会では、顧問の先生方やいつも応援して下さる周りの方々の声援のおかげで、緊張せず笑顔で最高の演技をすることができました。この大会で自分たちの今後の課題や、伸ばしていきたいところが明確になったので、確実に修正し、冬に行われるチアリーディング&ダンス選手権静岡大会でJr. Daisies初の全国大会出場を目指します。

練習に励みました。特にこの大会は、部員23人全員で踊れる最後の大会だったこともあり、1分1秒を大切に練習に取り組みました。大会では、顧問の先生方やいつも応援して下さる周りの方々の声援のおかげで、緊張せず笑顔で最高の演技をすることができました。この大会で自分たちの今後の課題や、伸ばしていきたいところが明確になったので、確実に修正し、冬に行われるチアリーディング&ダンス選手権静岡大会でJr. Daisies初の全国大会出場を目指します。

貴重な経験となった3日間 イングリッシュサマーキャンプ



参加生徒はこの体験で英語の魅力を再確認した

火を行うこともでき、素敵な夏の思い出となった。また、今回は3年前にイングリッシュサマーキャンプを経験した国際教養コース4期生の先輩も参加してくれたため、たくさんアドバイスをもらうことができた。先輩達からの言葉は生徒たちの心を強く打ち、失敗を恐れずどんどん挑戦していく姿が見られ、最終プレゼンテーションは私の想像を超えるものであった。積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとするが、うまく伝わらなかった時のもどかしさをこの3日間で強く感じたと思う。自分の殻を破り成長したことや、それぞれの課題を意識して、今後も目標に向かっていろいろなことに挑戦していってほしい。 (15HR担任 池谷 美紀)